



# 介護支援専門員(ケアマネジャー)

介護が必要な高齢者や家族の相談に応じ、介護保険サービスやインフォーマルサポートをコーディネートする

## しごとの内容

要介護状態にある高齢者やその家族の相談に応じ、その心身の状況に応じた適切な介護サービスが利用できるよう、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、市町村や居宅サービス事業者、介護保険施設との連絡・調整を行う専門職です。

具体的には、介護サービス計画（ケアプラン）の作成に向けた課題の分析、介護サービス計画（ケアプラン）の作成、サービスの提供に向けた連絡・調整、サービス開始後のモニタリング、ケアマネジメント費用の請求のための居宅介護支援介護給付費請求書の作成・提出などの給付管理業務を行います。

また、市町村の保健・福祉サービス、社協や福祉NPO法人事業所、さらには福祉系企業・事業所などのシルバーサービスの利用も視野に入れなければなりません。それだけに、ケアマネジャーには利用者の権利の擁護、公平・中立性、プライバシーの保護などの姿勢や倫理が求められるとともに、利用者やその家族が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的な知識と技術が必要になります。

なお、ケアマネジャーの資格取得者は以前は看護師や保健師が多かったのですが、最近は介護福祉士や訪問介護員・ホームヘルパー（初任者研修修了者）が中心となっており、社会福祉士や医師、薬剤師なども従事しています。

## 主な職場

指定居宅介護支援事業所（ケアマネジメント機関）、介護保険施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）、認知症高齢者グループホーム、地域包括支援センター



## 将来性

---

2000年4月に介護保険制度が導入されて以来、介護保険制度の要として高い期待が寄せられている職種です。制度の改革に伴い、2006年4月以降、地域包括支援センターなどで市町村や関係機関との調整やケアマネジメントのバックアップなど、包括的・継続的ケアマネジメントの機能などを担う主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）としてしごとをする人も増えています。なかには、それまでの知識と経験を生かして独立する人たちもいます。

## 合格者数

---

57万3,709人（2012年度現在）

## 勤務形態

---

日勤が一般的ですが、シルバーサービスの福祉系企業・事業所、福祉NPO法人事業所などでは変則的な場合もあります。

## 給与水準

---

勤務先や経験年数によって異なるため、一概にいえませんが、月収25万～26万円が平均的な相場です。

## 資格取得のルート

---

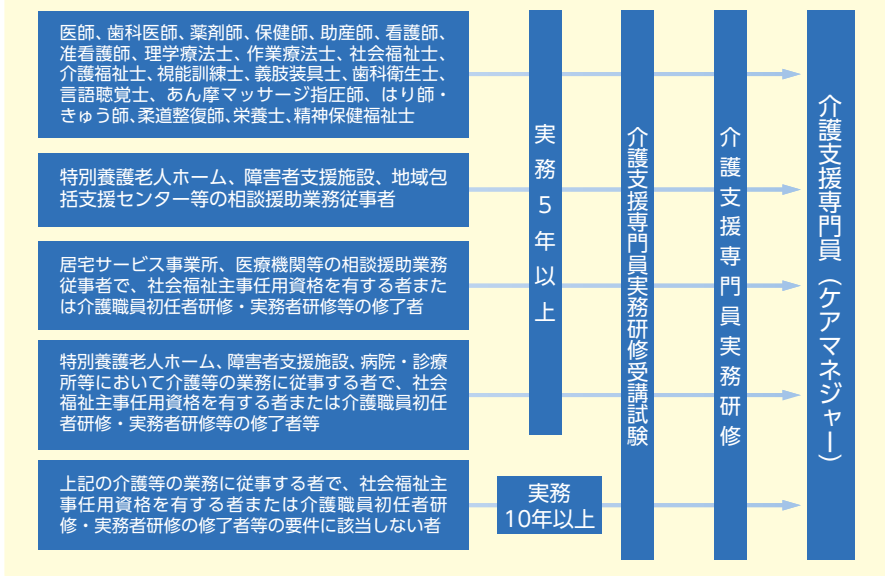
一般的には保健師、看護師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、言語聴覚士（ST）などの基礎的な資格を取得します。そのうえで高齢者介護などの実務を5年以上経験し、都道府県、または都道府県の指定法人が実施する実務研修受講試験に合格後、44時間にわたる実務研修を修了し、資格を取得することになります。

試験の出題方式は、五肢複択方式です。出題区分、数、試験時間は（表1）のとおりで、解答時間は120分です。

医師や歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、社会福祉士、介護福祉士、視能訓練士、義肢装具士、言語聴覚士（ST）などの法定資格取得者は受験科目が一部免除されます（表2）。

実務研修受講試験の内容および範囲は、介護支援分野、保健医療サービスの知識

<資格取得のルート>



等、福祉サービスの知識等の3つからなっており、代表的なテキストとして長寿社会開発センター発行の『介護支援専門員基本テキスト』があります。

なお、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格の有効期間は5年とされ、更新時には研修が義務づけられています。

<表1 出題区分、数、試験時間>

区分	問題数	試験時間
介護支援分野	25問	120分（10：00～12：00を原則とする）
介護保険制度の基礎知識 要介護認定等の基礎知識 居宅・施設サービス計画の基礎知識等		
保健医療福祉サービス分野		
保健医療サービスの知識等		
基礎	15問	
総合	5問	
福祉サービスの知識等	15問	
合計	60問	

<表2 解答免除対象者と免除形態>

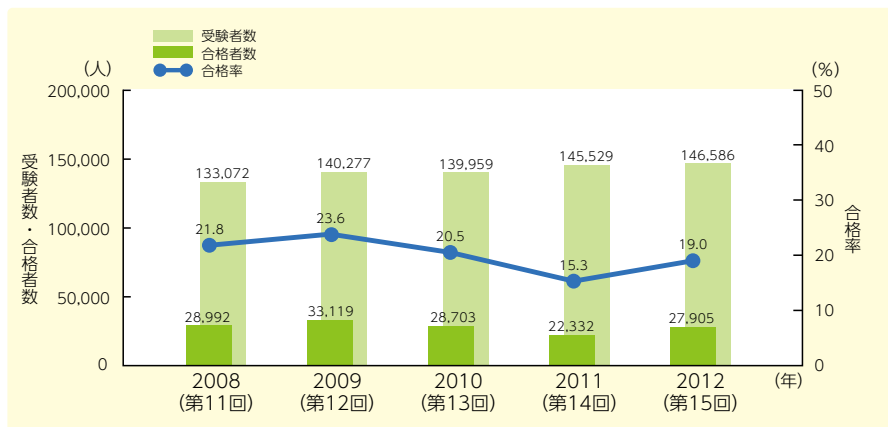
保健医療サービスの知識等の免除職種	「基礎」「総合」ともに免除	甲	医師、歯科医師
	「基礎」のみ免除	乙	薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、あん摩マッサージ指圧師、はり師・きゅう師、栄養士（管理栄養士）、義肢装具士、言語聴覚士、歯科衛生士、視能訓練士、柔道整復師
福祉サービスの知識等の免除職種		丙	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士

区分		問題数	甲	乙	丙
介護支援分野	介護支援分野	25問	受験	受験	受験
	・介護保険制度の基礎知識				
	・要介護認定等の基礎知識				
保健医療福祉サービス分野	保健医療サービスの知識等	15問	免除	免除	受験
	基礎	5問	免除	受験	受験
	総合	15問	受験	受験	免除
	福祉サービスの知識等	60問	40問	45問	45問
合計（解答数）					

## 資格取得のポイント

一般的には、基礎的な資格である保健師や看護師、社会福祉士、介護福祉士などの資格を取得して、高齢者介護の実務を5年以上経験し、介護保険制度の趣旨や現状、課題、将来性などを十分検討して、その要否を判断することが先決だと思われます。

## 合格者状況



## 関連団体・組織

日本介護支援専門員協会

<http://www.jcma.or.jp/>